

お客様本位の業務運営の取組み状況（2020年12月）

ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社

ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社（以下「当社」といいます。）では、「お客様本位の業務運営に関する方針」に基づき様々な取組みを継続しております。これまでの主な取組みにつきましてご報告いたします。

（方針1）お客様の最善の利益の追求およびお客様にふさわしいサービスの提供

＜対話機会およびの質の向上＞

お客様のニーズをできるだけ正確に把握するべく、お客様との対話機会を高い頻度で行い、運用戦略について詳細な議論を行いました。（通年）

＜自社商品以外の提供＞

お客様の最善の利益の追求のために、自社商品以外の商品のご提供を行いました。（通年）

（方針2）利益相反の適切な管理

＜社内研修の実施＞

全職員を対象として利益相反管理についての研修を実施しました。（2020年4月）

＜適切なディスクロージャー＞

投資一任契約に基づき当社が運用指図を行う運用資産に自社設定投資信託の受益証券を組み入れる場合は、お客様にご理解いただけるよう十分な説明を行ったうえで、自主規制規則に則りお客様への事前開示と書面によるご同意をいただいています。（通年）

＜カストディアン選定＞

当社の海外関係会社（ノーザン・トラスト・カンパニー）は、グローバル・カストディアンとしてトップ・クラスのシェアを有していますが、自社設定投資信託のグローバル・カストディアン選定に際しては、グループ会社であることを理由とした選定は行っておりません。

（方針3）情報の分かりやすい提供

＜説明資料の充実＞

運用戦略の説明資料、分析資料、定期的な運用実績の説明資料、その他の補足説明資料を大幅に充実させ、お客様のご投資の判断に資する分かりやすい情報の提供を行いました。（通年）

＜臨時報告書の充実＞

金融市場の急変時等に顧客向けにタイムリーな臨時報告書を作成・配布しました。（通年）

＜当社HPの拡充＞

公開している情報の更新や追加、一部のコンテンツに日本語のサブタイトルをつける等の工夫を行いました。

（方針4）従業員に対する適切な動機づけ

＜社内研修における注意喚起＞

社内の全職員向けコンプライアンス研修において、他社における不適切な事例を材料として、顧客本位の業務運営を向上させるための留意点について意見交換を行いました。（2020年4月/11月）

## KPI の設定

当社では、世界中から優れた運用戦略をお客様にお届けするという当社の取り組みを測る指標（自主的なKPI）として、「私募投信運用本数」と「日本国内で新たに紹介した運用戦略数」を採用いたします。

### 私募投信運用本数（親投信除く）

時点	2018 年末	2019 年末	2020 年末
本数	3	6	7

### 日本国内で新たに紹介した運用戦略数

年度	2019 年	2020 年
件数	2	3

また、今後新たな KPI 指標を拡充していく予定です。

### 「お客様本位の業務運営に関する方針」の見直し

当社は 2017 年 12 月に本方針を公表して以来、本方針に則った業務運営を常に心がけ、受託者責任を全うすべく取り組んで参りました。今般、本方針の内容と取組状況を見直した結果、現時点では文言の修正や追加を行う必要はなく、引き続き可能な限りの取組みを行っていくべきことを確認いたしました。

以 上